第12回 軽便鉄道模型祭記念

南筑の単端

南筑軌道『2』単端式ガソリンカー
車体エッチング板

(C) 軽便鉄道模型祭事務局　2016

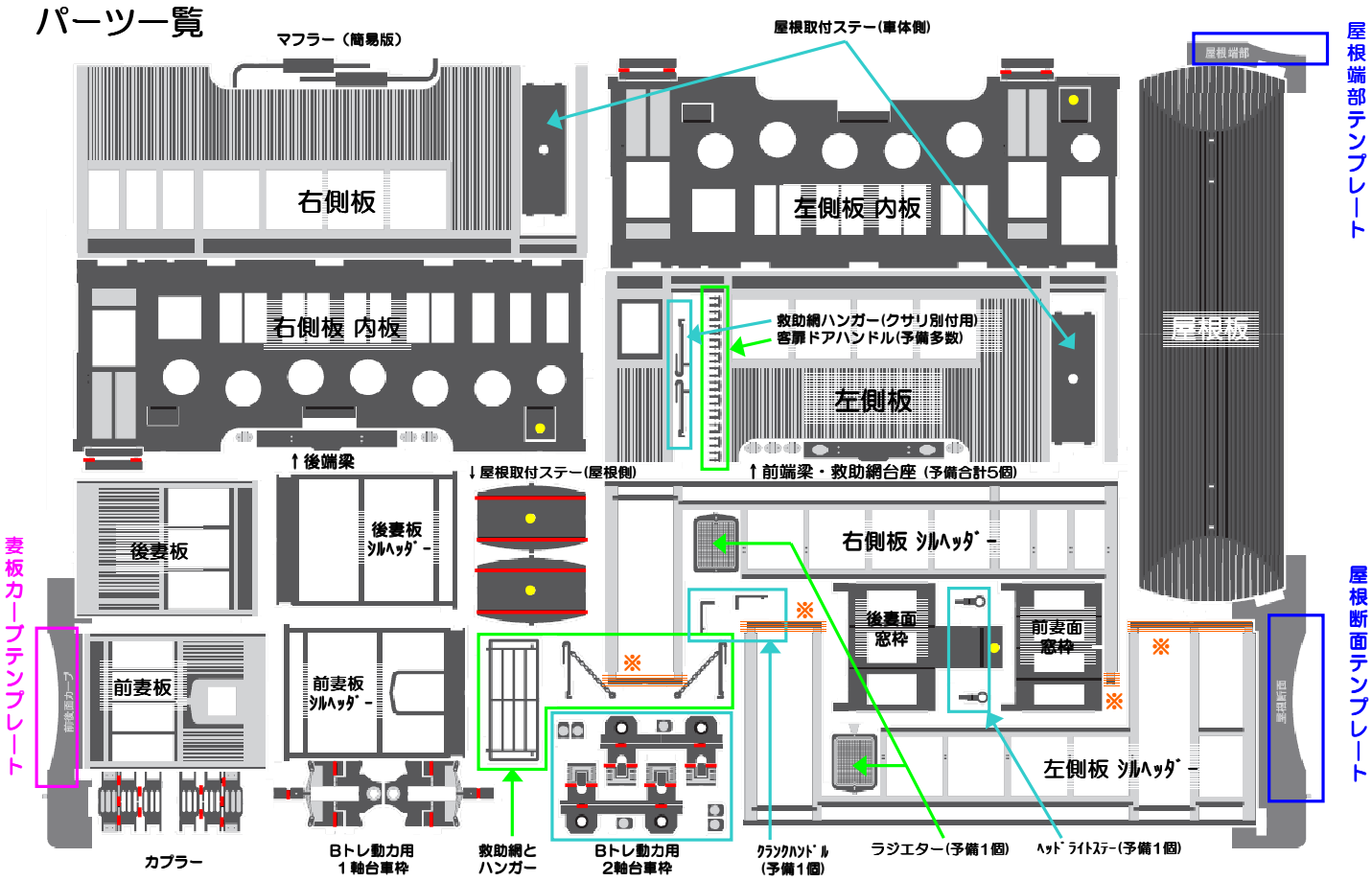
メール　keibenfes@gmail.com
公式ブログ　http://keibenfes.exblog.jp/
設計・製造　アルモデル

このたびは第12回軽便鉄道模型祭記念エッチング板をお買い上げいただきありがとうございます。
　今回の題材は、むかし九州で特に多くみられた3フィート軌間の軽便のひとつ・南筑軌道の片ボギー式単端式ガソリンカー『2』番。南筑軌道といえば〝ブタ〟とも渾名された石油発動機関車の活躍で知られていますが、その傍らで存在した3輌の単端式気動車のうちの1輌です。実車は昭和11/1936年中の製造とみられており、活躍の期間は廃止までのわずか4年程にすぎませんでしたが、牧野俊介さんが撮られたたった1枚の写真のおかげで、その姿を記憶されているファンの方は多いのではないでしょうか。

　この製品は車体の基本部分のみのキットであり、動力・各種ディテールは〝おまかせ〟となりますが、ぜひ各自の創意工夫でお楽しみ下さい。
・パーツの切り離しは、歪みが出ないよう注意深く行ってください。板厚はt0.3となっておりますので、相応にデリケートな扱いが必要です。工具はマイクロタイプのニッパー、エッチング鋏、爪切りを推奨。
・板の折り曲げの際、スジ彫りが内側とならないケースもありますので注意して下さい。
・組立にはハンダ付を推奨しますが、場所によっては瞬間接着剤／エポキシで代用しても差支えありません。
・タップ立てが必要な箇所があります。M1.4のタップをご用意下さい。
・客用扉裏面には、手スリの追加工がしやすいようにポンチマークがあります。
・塗装は脱脂洗浄、プライマーで下処理ののちおこなってください。実物の色は正直云って不明ですから、是非好みの色で仕上げてみてください。マスキングが面倒ですが、窓枠をニス塗り風の色で塗り分けるとよいアクセントになるでしょう。

※注意：このキットは製品の特性上ある程度の経験者向けであり、小さなお子様や工作知識のない方には適しませんのでご留意下さい。

パーツ一覧



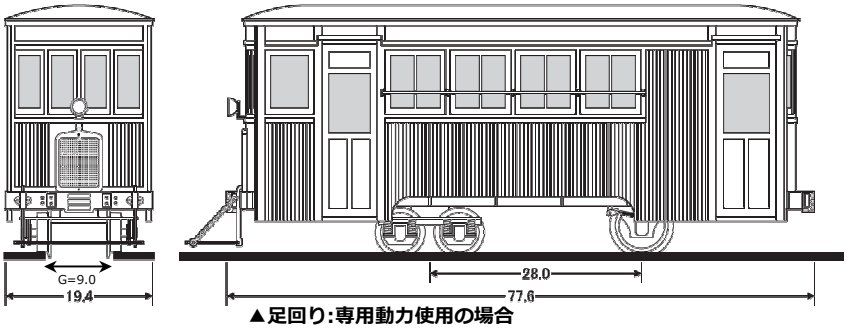
▲上の図はエッチング板のランナーとゲート（バリ）を除いた状態を示しています。これを参考に、位置決め用の突起をバリと間違えて落とさないよう注意してランナーから切り離して下さい（※なお、側板シルヘッダーの下端部〔オレンジ色アミカケ部〕は組立後に切除）／・赤いマーキング■の部分は、スジ彫りが外側になるように折り曲げます。／・黄色の丸印●（車体内側床板ステーおよび屋根取付ステー〔屋根側〕）にはあらかじめM1.4のタップを立てます。

■推奨動力装置

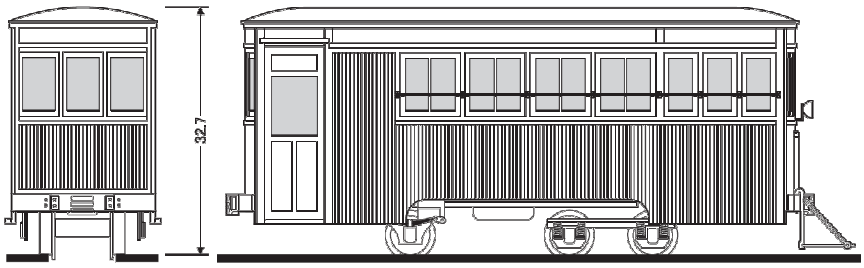
◎ アルモデル 南筑軌道2専用動力 キット
◎ KATO Bトレ用動力（=『小形車両動力ユニット』）
※品番11-105・11-106・11-107いずれも使用可能ですが、台車切削の手間が少ない11-107『通勤電車2』が好適です。
★実物のスケール通りならゲージは10.5mmですが、普及度などを鑑み便宜上9mmの足回りをご紹介しています。9mm以外へのチャレンジはどうぞご自由に！

■別売パーツ

◎ ヘッドライト(1個)：アルモデル B3003（HOナロー）オワン型ヘッドライト（※専用動力キットには附属します）、エコーモデル おわん型ヘッドライト など
◎ 救助網取付ステー　φ0.8×0.6真鍮パイプ
◎ 側窓保護棒：φ0.3前後の真鍮線または洋白線
◎ M1.4×2ビス 2本（屋根の固定用）、M1.4×4ビス 3本（Bトレ動力使用の場合、車体と床板の組付用）
★カプラー：付属のカプラーでもコ型ピンないしピン&リンク使用での連結は可能ですが、ケーディー等を取り付けたい場合は各自工夫のこと。
★排気管はパイプや線材で適宜自作を。エッチング板に含まれるシルエット状のパーツをテンプレートとしてご活用下さい。



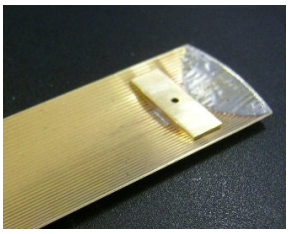
▲足回り:専用動力使用の場合



▲足回り:改造Bトレ動力使用の場合

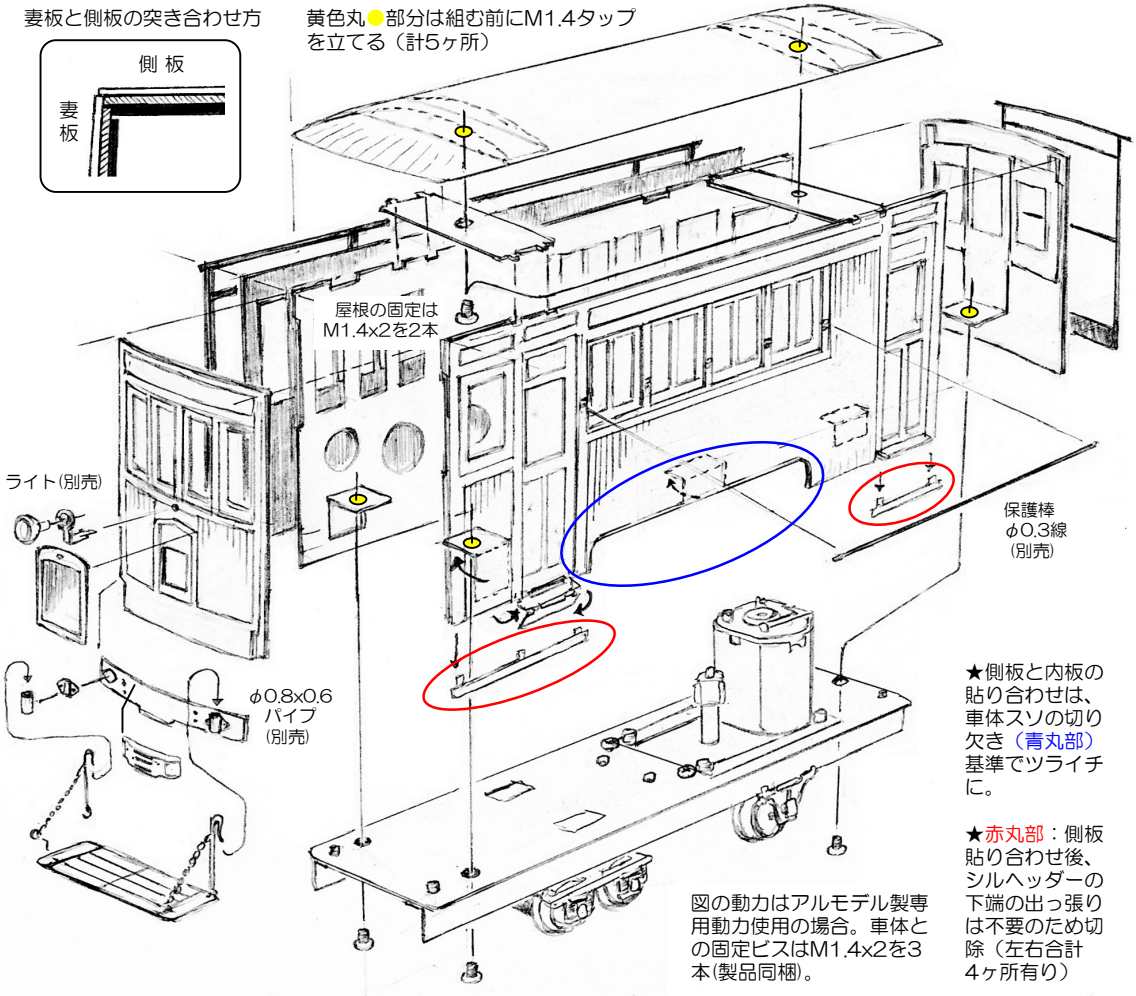
車体組立図

屋根の断面の曲げは、最初裏スジに沿って大まかに曲げ、最終的に裏面に2ヶ所取り付けるステーに合わせる。



屋根先端は、櫛状の部分を指先で徐々に整えてから、多めにハンダを流してスキマを埋めたのちヤスリで成型。

妻板の曲げは、シルヘッダー＋外板／窓枠(内板)／端梁／カプラーを個別に曲げておいてからハンダ付する。外板の曲げは柔らかい紙束にのせて丸棒を押し当てる方法（↓）で。

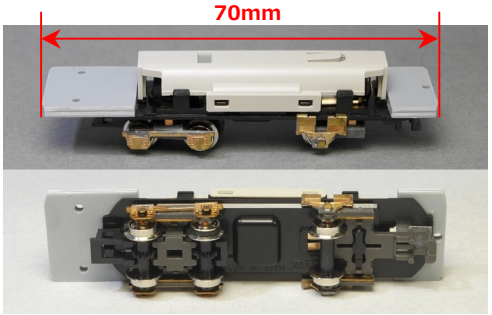


★側板と内板の貼り合わせは、車体スソの切り欠き（青丸部）基準でツライチに。

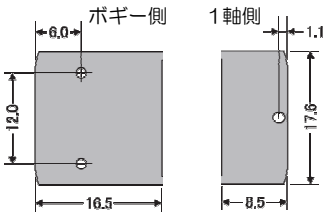
★赤丸部：側板貼り合わせ後、シルヘッダーの下端の出っ張りは不要のため切除（左右合計4ヶ所有り）

★KATO　Bトレ用動力使用の場合

・台車枠表面のディテールを、集電板軸受の突起が見える寸前位まで削ります。トレーラー台車は、カプラー側の軸受は丸々切除して1軸台車に見立てます。
・エッチング板付属の軸受パーツを組み立て台車に貼り付け。1軸台車側はパーツの上端を床板に接着することで台車の首振りを抑える形です。
・車体への取付ステーを兼ねた床板延長部は、右端の図を参考に2mm厚のプラ板等で自作して床板上面に接着。全長が70mmになるようにします。車体への固定はM1.4x4 3本。
＊いずれの工作も、難接着素材対応の接着剤（変性シリコン系ないし合成ゴム系）をご使用下さい。



床板延長部 寸法図（t2.0）
取付け後は、左の写真の通り床板の全長が70mmになるように。



キットや実物に関する情報は、軽便祭　南筑軌道　検索